

「在籍生徒数120人以上」の保持を目指して 学校と地域が連携し高校の魅力化などを検討しています

全国的な少子化を背景に、飯山市を含む岳北地域にある飯山高校と下高井農林高校でも、近年、生徒数が減少傾向にあります。こうした状況を踏まえ、長野県教育委員会では県内高校再編の検討を行っています。このほど、「再編に関する基準等（改訂版）」がまとまりました。

新たな基準では、再編の対象と判断する基準を「在籍生徒数が120人以下の状態が2年連続した場合」と規定。この基準とあわせて改定前の基準に示されていた「在籍生徒が160人以下かつ卒業生の半分以上が当該高校へ入学している中学校がない状態」という部分が今回の改定で削除されています。これは、岳北4市村（飯山市・木島平村・野沢温泉村・栄村）の市長・村長、教育長などで構成する「岳北地域高校の魅力づくり研究会」等で、課題の共有や存続に向けた取り組みの検討を継

続して行い、その都度、県教委に改善の申し入れを行ってきた事項が採り入れられた内容となっています。改定基準は、令和8（2026）年度を初年度として令和12（2030）年度まで適用することとなり、この期間に全校生徒数が2年連続で120人を下回ることがないよう、引き続き各校には継続的な取り組みが求められます。

令和7年度全国学力・学習状況調査結果概要をお知らせします

全国学力・学習状況調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、指導方法の改善や教育施策の改善・充実につなげることを目的に毎年実施されています。本年度は、4月17日に小学校6年生、および中学校3年生を対象に、国語科、算数・数学科、理科の3教科で実施されました。

小学校では、国語科で全国平均を6.8ポイント、算数科で全国平均を5ポイント、理科

新施設として開所

新たな城北児童クラブの活動が始まりました

城北児童クラブは、9月の城北小学校新校舎移転にあわ



体育館で元気に過ごす城北児童クラブの児童の皆さん

せ、新校舎に併設する新施設での活動を開始しました。

施設には3つの活動室を設けており、長期休暇などの一時的な利用増加にも対応。また、体育館に隣接しているため、宿題、遊び、運動など、多様な活動を行うことができます。子どもたちの笑顔があふれる場を目指し、引き続き運営に取り組んでいきます。

全国学力・学習状況調査結果概要（飯山市と全国と比較）

学校別	教科	全国	飯山市
小学校 6 年生	国語	66.8	60
	算数	58.0	53
	理科	57.1	52
中学校 3 年生	国語	54.3	52
	数学	48.3	45
	理科	50.3	51.6

※全国平均正答率は小数第一位、市平均は整数値で公表。
中学校理科は500点を中心にしたIRTスコアに基づくテスト運用

このような結果を踏まえ、市全体で取り組む小学校・中学校、中学校教科会では、結果分析をもとにした授業改善を進めるとともに、信州大学教育学部の先生方から、学力向上に関するご指導をいただいています。特に、ICTを活用しながら自らの考えを練り上げていく「個別最適な学び」や、子ども同士による「協働的な学び」等により課題解決できる力を育むための授業を創っていきたいと思います。

■お問い合わせ

子ども育成課学校教育係
Tel 0269-67-0741

11月開催の長野県縦断駅伝競走大会 飯山・栄チーム」が出場

11月16日(日)、第74回長野県縦断駅伝競走大会が開催されます。飯山市は、昨年の大会に栄村と合同で「飯山・栄」チームとして出場し、総合12位という成績を収めました。

今大会の出場にあたっては、飯山・栄チームの実行委員会

飯山・栄チーム 監督・選手の皆さん

※氏名は敬称略

監督	堀田 学	
主将	佐藤 聖也	
選手	清水 忠文	田中 大輝
	仲條 菜生	島田 佳祐
	宮川 健太	佐藤 健人
	嶋田 樹	鷲野 彪雅
	宮内 晴生	田中 秀磨
	篠原 真仁	八井澤 陽斗
	齊藤 隆希	山本 湧心
	富井 陽友	和田 亜依
	田中 希果	川久保 莉美
	鷲野 ゆりあ	
(選手名は順不同で掲載。当日変更により選手が変更になる可能性があります。)		

において出場資格の確認を行い、参加標準記録の突破者数が規定の人数を超えたため、今大会も「飯山・栄」として単独チームで出場することが決定しました。

大会は松本城前をスタートし、飯田合同庁舎をゴールとする14区間98・72キロで開催されます。チーム一丸となり、昨年を上回る成績を目指して懸命に「飯山・栄」チームに、皆さんのご声援をお願いいたします。

■お問い合わせ

スポーツ推進課
Tel 0269-67-0746

公正な採用選考をお願いします

飯山公共職業安定所長 岡部 瑞穂

就職の機会均等を確保するため、採用選考の基本的な考え方として、「応募者の基本的人権を尊重すること」「応募者の適性・能力に基づいた基準により行うこと」「この二点を基本的な考え方として実施することが大切です。」

そして、公正な採用選考にあたっては、「応募者に広く門戸を開くこと」「求人条件に合致する全ての人が応募できるようにすること」が大切です。

また、採用選考では「本人の責任のない事項（①本籍地、②家族の職業、③住宅状況、④生活環境・家庭環境等）」や「本来自由であるべき事項（⑤宗教、⑥支持政党、⑦人生観、生活信条、⑧尊敬する人物、⑨思想、⑩労働組合、⑪購読新聞・雑誌・愛読書等）」を面接やエントリーシート

等により把握することは、

就職差別につながるおそれがあります。

事例として、面接で応募者をリラックスさせるために身近で応えやすい家族について話題として質問をしてしまうケースがあります。差別の意識がなく把握した場合でも、知らないうちに予断や偏見を招き、本人に対する評価にフィルターがかかり、把握したことが採否決定に影響を与え、就職差別につながるおそれがあります。

事業主の皆様におかれましては、公正な採用選考の考え方についてご理解いただきまして、差別のない公正な採用選考の実施に向けたさらなる取組をお願いします。

なお、厚生労働省（ハローワーク）では、各種の啓発資料を作成し配布等しておりますので、ハローワーク飯山（Tel 0269-62-8609）までご相談ください。

第53回 差別のない明るい飯山市を築く市民大会 ～人権尊重のやさしいまちづくり

思いやりと温もりの地域づくりを目指して～

●日時

令和7年（2025年）10月25日（土）
午後1時30分～午後3時50分（開場午後1時）

●場所

飯山市文化交流館なちゅら 大ホール

●講師

横田 拓也さん

（北朝鮮による拉致被害者連絡会代表（横田めぐみさんの弟））

●演題

「北朝鮮よ、姉 横田めぐみを帰せ！」 横田 拓也さん

●その他

- ・木島小学校児童・城北中学校生徒による作文発表
- ・作品展示（小中学校児童生徒の人権啓発ポスター）
- ・大会宣言

※ご来場者に市内小中学校児童生徒から寄せられた作品をまとめた「作文・標語集」を贈呈します。どなたでもお気軽にご来場ください。

（お問い合わせ）

人権政策課
Tel 0269-67-0743



横田 拓也さん